

ひらかたパークでの取り組み

ISO14001 認証取得

環境負荷の軽減と運営コストの削減、企業イメージの向上などを目的に、平成12年9月22日、遊園地として日本初の「ISO14001」認証を取得しました。①節電、節水、②印刷物管理(紙ゴミの削減と再資源化)、③廃棄物管理、リサイクルの推進(空き缶、ペットボトルなど)、④騒音抑制などに取り組んでおり、電気・水道使用量の削減、空き缶・ペットボトルのリサイクル(平成21年度実績アルミ缶1,000kg、スチール缶8,520kg、ペットボトル7,460kg)、騒音トラブルの解消などで効果を出しています。平成22年4月には環境方針を見直し、来園者や地域へ環境保全に関する取り組みを発信していくことにしました。

CO₂削減/ライトダウンキャンペーン2009に参加

環境省の呼びかけに応じ、枚方市地球温暖化対策協議会の会員として、「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン」に参加しました。平成21年6月21日は「ブラックイルミネーション2009」、7月7日には「七夕ライトダウン」として、夜間点灯している観覧車「スカイウォーカー」を17時30分から20時まで消灯しました。



ひらかたパークの観覧車

夏のイルミネーションにおいて床発電を採用

平成21年度夏シーズンのイルミネーション「SUMMER NIGHT FANTASIA ~人魚姫~」において、関西のイルミネーションイベントで初めて、クリーンエネルギーとして話題の「発電床®」を体験できるコーナーを設置しました。「発電床®」を踏む振動エネルギーで発電し、目の前のイルミネーションを点灯させることができる、参加型イルミネーション™でイベントにおいて環境問題への取り組みをアピールしました。



発電床®

私たちが、環境活動に取り組んでいます

Message

鉄道電力削減プロジェクトに取り組んで6年経過しましたが、地球温暖化による世界的な異常気象により、夏期の冷房、冬期の暖房での使用電力量が大きく増加する場合があります。これに対して社員の節電努力だけでは目立った電力量の削減ができないのが現状です。しかし、プロジェクトが始まった頃に比べ、近年では社員一人ひとりが削減意識を持ち、節電行動が定着しましたので、電力使用量を大きく削減することは望めませんが地道な努力を継続することで、地球温暖化対策に少しでも貢献できると考えています。



電気部 技術課
木村 直樹

Message

廃棄物を分別し資源として再利用するほか、グリーン購入推進プロジェクトにより再生商品の購入を促進しています。また廃棄物処理に関しては事業者の責務として運搬業者、中間処理業者、最終処分業者と各業者に出向き、廃棄物が最終的にどのように処理されているかを確認しています。また、節電、節水や不要なエネルギーを極力使わないことを職場で呼びかけ、省エネにも積極的に取り組み、CO₂削減に努力しています。



車両部 車両課
管理担当
橋本 秀樹

Message

保線課では、列車騒音振動低減対策として、伸縮継目撤去やロングレール化によるレール継目を撤去することで列車騒音振動の低減を図るとともに乗り心地向上にも努めています。平成21年度の施工例として、守口市駅構内の分岐器の一部を閉節ポイントから弾性ポイント化したことが挙げられます。これにより列車通過時における継目音が軽減され、かつ保守軽減にも寄与しています。今後も保線課としてはお客さま目線で、さらなる環境への取り組みを行っていきたくと思っています。



工務部 保線課
設計担当
板井 克徳